

令和8年7月8日

座間市議会議長
松橋 淳郎 殿

委員会名
又は会派名 座間市公明党

氏 名 鈴木 一寿

【市議会議員のためのハラスメント研修所感】

今回の研修では、ハラスメントは「悪意の有無」ではなく、「受け手がどう受け止めたか」が重要であり、議員は市民から選ばれた立場であるからこそ、自らの言動が相手に与える影響を常に意識しなければならないことを改めて認識しました。

私は民間企業に約 40 年間勤務し、毎年ハラスメント研修を受講してきました。その中で制度や知識を学ぶだけでなく、それらを日々の行動に結び付ける「マインド（意識）の醸成」が最も重要であると感じてきました。今回の研修で質問させていただいた際、講師から「無意識を意識化することが重要であり、『これは相手を尊重した言動か』と一呼吸置いて考える習慣が大切である」との回答をいただき、この考え方に深く共感しました。

また、議員は市民や職員との関わりが多く、要望や指摘を行う機会も少なくありません。正当な議員活動であっても、伝え方や接し方によっては相手に威圧感や心理的負担を与える可能性があることを改めて認識しました。政策や業務への厳しい指摘と、人格を否定する言動は明確に区別し、相手の人格と尊厳を尊重した対応を常に心掛ける必要があると感じました。

今回紹介された判例や SNS に関する事例は、議員としての社会的責任の重さを再認識する内容であり、日常の言動や情報発信についても、より一層の自覚を持つ必要があると感じました。

今後は、本研修で学んだ内容を自身の議員活動に生かし、「相手を尊重する姿勢」を常に意識するとともに、市民や職員から信頼される議員であり続けられるよう、自らの言動を振り返りながら研鑽を重ねてまいります。